

行政改革アクションプラン(後期プラン)への パブリックコメントと市の回答

プランの策定にあたり募集した、パブリックコメントの要旨
と市の回答(考え方)は、以下のとおりです。
貴重なご意見・ご提案、ありがとうございました。

パブリックコメントの意見・提案箇所	15P 7 図書館機能の充実				
パブリックコメントの意見要旨	①新図書館を民間委託（指定管理）にしないほしい。（2件）	②新図書館の付属施設を充実させてほしい。（小ホール、展示、学習、飲食、親子部屋など）	③新図書館建設に合わせて、古文書の保存・管理も考えてほしい。郷土史料室を設置してほしい。	④大田・山香の図書館の充実も記載してほしい。	⑤「財政健全化」の項目に入れるのはおかしいのでは？
パブリックコメントに対する市の見解	現在、市民の代表を含む委員会で新図書館建設計画を策定中です。 新図書館の管理運営方法については、現時点では何も決まっています。 今後、どのような管理運営方法がいいのか、専門家や市民の皆様の意見を聞きながら検討してまいります。 なお、当項目は 【3. 持続可能な財政基盤と弾力性のある財政構造の確立（1）財政健全化 ①財政の合理化・効率化 5. 図書館の管理・運営方法の見直し】 から 【1. 新たな価値を創造し、市民本位の視点に立った行政経営の実現 ②行政事務の効率化とサービス向上 7. 図書館機能の充実】に変更しました。	現在、市民の代表を含む委員会で新図書館建設計画を策定中です。 25年度に設計に着手する予定ですが、設計段階でも、市民の皆様や利用者のご意見を聞く機会を設けて、その声を設計に反映させたいと思っています。	現在、市立図書館には貴重な古文書がたくさん収蔵されています。 今後、単独の古文書史料館を建設するのは困難ですが、新図書館の中に、可能な限りのスペースを確保したいと思っています。 そして、古文書をただ単に収蔵するだけでなく、その利活用についても、専門家のご意見を伺って、広く活用できるようにしたいと考えています。	「市立図書館」とは、杵築の本館と山香図書室、大田図書室の3館（室）を指します。 本館だけではなく、山香、大田図書室の充実を図ることは当然のことと考えています。	ご意見を参考にさせて頂き、当項目は 【3. 持続可能な財政基盤と弾力性のある財政構造の確立 （1）財政健全化 ①財政の合理化・効率化 5. 図書館の管理・運営方法の見直し】 から 【1. 新たな価値を創造し、市民本位の視点に立った行政経営の実現 ②行政事務の効率化とサービス向上 7. 図書館機能の充実】に変更しました。

	29P	新規
パブリックコメントの 意見・提案箇所	3 広告収入等の活用	市民・文化ホールの新設
パブリックコメントの 意見要旨	⑥広報誌に広告欄を設けることは公平性に欠けるのではないか？多少の収入のために、紙面を使わず、情報提供に最大限利用すべき。	⑦市民会館がなくなったので、文化活動の、発表、催しのための「文化ホール(市民ホール)」の建設をプランに入れてほしい。 (2件)
パブリックコメントに 対する市の見解	広告収入については、行政改革集中改革プラン(第1次大綱の実施計画)に遡り、平成20年度から、広報紙、事務用封筒などへの広告の掲載を始め、安定した広告収入を得ています。 ご意見のあった広報誌においては、様々な制約(基準)を設け、広告によって情報量、質、公平性が欠くことのないように作成しています。 今後も、ご意見には十分留意した取り組みを行いますので、ご理解、よろしくお願いします。	市民の皆さんの、市民ホールの早期建設を望む声は十分承知しています。 しかしながら、建設に当たっては広大な用地の確保、建設後の維持管理費など、建設に至るまでにクリアしなければならない問題がたくさんあります。 財政状況を考慮し、市全体の公共施設の整備計画を全面的に見直し、市民ホール建設に向けての検討をしてまいりたいと考えます。